

事務事業名	コード	34600	教育総務事務費(教職員研修)	予算科目	会計	款	項	目	所管課	学校教育課	担当班	指導班
基本施策	11	学校教育の充実	根拠法令	教育基本法、学校教育法、教育公務員特例法	一般	10	1	2	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	<input type="checkbox"/> 新市建設計画
施策の展開	21	教育支援体制の充実	戦略事業	119	教職員研修事業					<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	<input type="checkbox"/> 主要事業	
施策の展開			戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市内の教職員に対しさまざまな研修の機会を保障し、専門性を高め、指導力向上を目指す事業である。毎年行う必要のある研修や時代のニーズに応じて必要となる研修を市独自に企画・運営し、年度ごとに見直しを行っている。 【参加対象】市内小・中学校教職員及び講師等
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
教育公務員特例法第 21 条には「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」と定めている。市では、児童生徒の学力向上や豊かな学びを保障するため、市内に勤務する教職員に独自の教職員研修を行っている。	教育を取り巻く環境は年々変化し、新たな課題も山積している。また、近年大量の教職員が定年を迎え、若手教員が増加する中、教職員研修の意義はますます重要性を増している。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
各研修への参加者の満足度は高く、9割以上の参加者が日程や内容に満足したと答えている研修が多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)	単位:千円	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
0						
0						
0						
0						
0						
② 特定財源の内訳(27年度の決算)	単位:千円					
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	0					

前年度増減理由	従事職員数	常時	1人	最大	6人	×	13日	=	延べ	78人
---------	-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)								
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象意図 市内教職員 教職員としての専門性の高まり、指導力向上 対象意図								

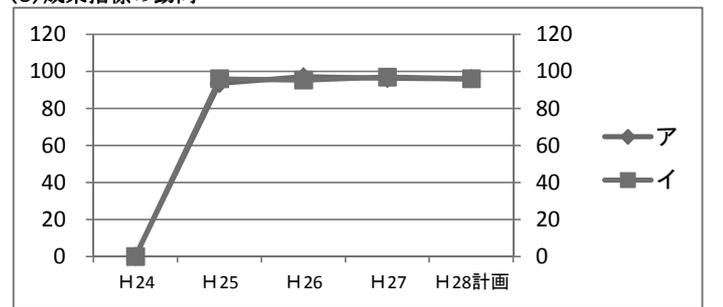
ア	旭市教職員研修会実施数	研修会	15	16	15	13	13
イ	旭市教職員研修会実施日数	日	35	35	32	33	31

ア	研修会参加者の日程への満足度	%	—	93.5	97.1	96.2	96.0
イ	研修会参加者の研修内容への満足度	%	—	96.0	95.3	96.9	96.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果											
施策貢献度	大きい	成果向上余地	かなりある	ある程度ある	ほとんどない	評価結果	①	②	③	④⑤	⑥	⑦⑧	⑨
	普通						(4)						
	小さい												

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> 概ね順調	<input type="checkbox"/> 停滞	<input type="checkbox"/> 実施困難							
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	向上	横ばい	低下	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
成果指標イ	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	向上	横ばい	低下	成果動向	24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
【コメント】(低下の場合、その理由)							ア	-	93.5	3.6	△ 0.9	△ 0.2
							イ	-	96.0	△ 0.7	1.6	△ 0.9
③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し						
29年2月15日まで	実情に合わせた新たな研修の企画・運営を行う。主なものとしてはミドルリーダー育成研修会の新設や、道徳教育研修会、指導力向上研修会を見直し、実施する。	29年2月15日まで		<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> その他 ()						